

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスがーでん				児童発達支援 支援プログラム		作成日		2024 年		12 月		13 日	
法人（事業所）理念		1. 学習→個別の課題を通して、達成感を味わう。2. 社会→きわめて小さい集団遊びを通して、社会性を育む。3. 生活→自分のことは自分でする習慣をつける。													
支援方針		1. できることから少しずつ →子どもたちひとりひとりの課題に丁寧に対応するとともに、長所を生かす支援を行います。苦手なことも、スモールステップで無理なく最後まで取り組むことができるように支援し、「できた！」の気持ちをたくさん味わえる工夫をしていきます。 2. 人と関わることの楽しさを知る →きわめて小さい集団での遊びを通して、社会性の基礎を育てます。「ルールを守る」「自分の気持ちを相手に伝える」「ほかのひとの気持ちを理解する」など、お友達と上手に遊べるためのコミュニケーションスキルを身につけます。SSTを通じ、他人と関わりながら社会で生きていくために必要な技術を学びます。 3. 自分のことは自分でできる →どこにつまずきがあるかをしっかり見極め、どのようにしたらできるようになるのか、無理なく楽しく取り組めるよう支援することで、子どもの意欲や自信につながるようにします。身のまわりのおことなどひとりでできることを増やし、社会生活を送るために必要な生活習慣を身につけていきます。達成感を感じることで、自己肯定感を育み、新しいことへのチャレンジ力を高めていきます。													
営業時間			9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促進する。 ・定期的な心身のチェック(体温測定、メンタルチェック) ・生活リズムの安定(定期的に通所する、利用時間内の習慣づけ) ・児童にとってわかりやすさ、使いやすさを意識した室内のレイアウトや支援内容の掲示等 ・SSTなどによる社会的、身体的、精神的スキルの向上													
	運動・感覚	身体を動かす活動を取り入れ、体力と身体能力の向上を目指す。集団行動を通して、適切な共同生活を身につける。 ・手先の巧緻性を高める活動の提供 ・感覚の特性への対応のための環境設定の実施 ・身体を動かすことの楽しさを味わうことのできる活動の提供および、姿勢保持のための支援の実施													
	認知・行動	発達段階に合わせた学習への支援と、認知行動の特性における感覚の統合を行う。 ・支援時間内(1 時間)のスケジュールおよび時間割の確認を通して、時間の認知の形成を図る。 ・積み木やジェンガなどの遊びを通しての空間把握能力を養う。 ・きわめて小集団での活動への適切な行動形成および、認知行動の偏りへの配慮と適切化の支援。													
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力の獲得および向上や、社会生活における人との関係性の構築能力を養う。 ・始まりの会、終わりの会における発表活動への参加による言語表出 ・日本語の語彙力向上および、ルールやマナーを学ぶのための教材の提供 ・職員や子どもとの関わりによるコミュニケーション能力の獲得													
	人間関係 社会性	人との関りや関係性の向上と、社会生活における適応能力の向上を図る。 ・信頼関係の構築および愛着形成と、感情のコントロールを行うための自己理解および支援 ・一人遊びや平行遊び、模倣遊びなどを通して遊びの組み合わせや移行を促しつつ、社会性が身についていくように支援を行う ・ルールの理解が必要な遊びや集団行動の提供と、日本におけるマナーについての理解を深める支援													
家族支援		成長や発達における心配事などの相談を通してアドバイスやサポートを行う。 関係機関との連携を行いつつ、共通の理解を深めながら体系的に支援が行えるようにサポートを行う。							移行支援		就学時などのライフステージに合わせた移行準備や地域支援の連携を行いながら、本人やご家族と一緒に考えアドバイスを行う。				
地域支援・地域連携		保育所や幼稚園、障害福祉サービス等の事業所連携を図りながら、子どもの成長発達やご家族のサポートを行う。							職員の質の向上		・定期研修および、特別研修の実施。 ・虐待防止委員会、虐待防止事例検討会、事業所内支援会議、西尾市事業所連絡会、キャリアパス研修、				
主な行事等		・お花見会、夏祭り会、クリスマス会などの季節の行事 ・保護者の参加向け(参加型)行事													